

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 旭川中央ケアサポート 安心コールセンター

(第8回) 介護・医療連携推進会議議事録

日 時 平成31年 2月13日 (水) 10時30分 ~ 11時00分

場 所 旭川中央ケアサポート かりのすまい東光 1階研修室

出席者

事業所	福祉介護事業部長	柏葉 美香
	福祉介護事業課長	遠藤 康敏
旭川市福祉保健部長寿社会課包括ケア推進係		浅沼 尚人 様 (欠席)
森山メモリアル病院 訪問リハビリ PT		山田 様
地域住民代表 民生委員		野村 様 (欠席)
定期巡回随時対応サービス利用者	西野様 (長女)	弘田あゆみ 様

議題

事業所より報告

1. 利用状況の現状

- (1) サービスについての経過報告 (事例)
- (2) 今後サービスについての抱負
- (3) 次回開催予定
- (4) 意見交換

【会議より 抜粋】

《課題検討》

1. 転倒が続いていることについて

①居室、ベット横・クローゼット付近・トイレなどで転倒が繰り返されている。

福祉用具を追加することについては、車椅子動作の妨げになるので、様子観察にて検討。

②以前より、「出来ることはご自分です」との本人の意思は強く、思いは尊重し試行錯誤工夫しながら見守って行く。

③普段はナースコールを普通に押されているが、自身で無理して行動している時は、気持ちがいっぱいになり、どうしていいのか分からずパニック、コールボタンを押すこと自体を忘れてしまい、結果「転倒」に繋がってしまう。今後も、都度「ナースコールを押されるよう」声掛けを続けていく。

④居室内に「困った時は、首に下げているナビを押して下さい」との張り紙を張る。

2. 食事動作について

先日、昼食時の西野様の様子を、訪問リハビリ（PT）山田先生が視察されている。

動作や飲み込みについて、今後誤嚥事故が心配との回答。

リハビリ（PT）山田先生より、メモリアル病院の言語聴覚士（OT）に状況を伝え、（動作・姿勢について、食事・使用している茶碗やお皿の大きさ）について相談し意見を頂くことを約束する。必要に応じ言語聴覚士（OT）伴に訪問して頂く。

家族様より

入所前より、普段自宅の食事では、主食の上におかずを載せ食べていた事も多く、ぜひ試して下さいとの希望にて実施する。

3. 誤嚥・誤飲予防について

大好物の「飴」を頻繁にベットで過ごしている時間や就寝前に舐めていることがある。姿勢によっては窒息事故の危険が大きい。

対策とし、飴に対しての依存性も強い方なので、精神的なフォローを行いながら少しずつ手元から離すことを試す。

次回開催予定 令和元年 9 月

